東京2020オリンピック聖火リレー 千葉県点火セレモニー

# 「トーチキス」でつなぐ、みんなの想い ――

新型コロナウイルスの影響で聖火リレーの走行が中止となった千葉県。7月1～3日までの3日間に分かれて点火セレモニーを開催。各会場に集結したランナーが「トーチキス」により、次々と聖火をリレーしました。

①

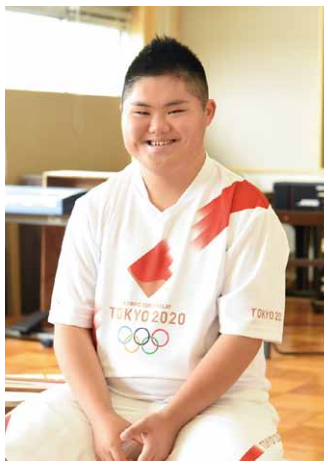
②

③

④

芝山町ゆかりのランナー

## 木川 武蔵（むさし）さん



千葉市の幕張メッセ駐車場で開催されたセレモニー2日目。千葉県立東金特別支援学校に通う木川武蔵さん（芝山町在住）が、町ゆかりのランナーとして参加しました。学校では障害者スポーツの広報活動を行う「オリ・パラ」推進隊に所属し積極的に活動している木川さん。

さまざまな想いを胸に臨んだセレモニー当日。最初は少し緊張した様子でしたが、徐々にほぐれてくると笑顔やばっちりポーズを決めるなど、最後までその大役を立派に務め上げました。

### セレモニーに参加した感想――

聖火ランナーについては、本番に向けて先生と一緒にたくさん練習をしました。実際に走ることはできませんでしたが、点火セレモニーが開催され、そこで「芝山町や東金特別支援学校の代表」としてステージに立てたことは本当に嬉しかったです。

### 今後の想いとは――

今回の経験で得ることのできた自分への「大きな自信」。いろいろなことに挑戦したいという気持ちも芽生えました。今後「学校の生徒会長に立候補したい」という、大きな目標があります。

ボッチャとバスケットボールがとにかく大好きです。開催されるオリンピック・パラリンピックでの日本選手の活躍を楽しみにしています。また、今後も「オリ・パラ」推進隊として、パラスポーツの魅力をたくさん伝えていきたいです。

①同じグループの方々とのフォトセッションに笑顔②トーチキスを受ける木川さん③灯された聖火を手にする様子④2日目に参加した全員でつないだ聖火が灯された「聖火皿」。最後の締めくくりは熊谷知事による挨拶（7月2日）

特集 先生、教えてください！

# 保育所での１日、どう過ごしているの？

私たちの身近な存在である「町の保育所」。大切な我が子を預けるこの場所には、子どもの成長にしっかりと寄り添い、思いやりと優しさに溢れた保育士の先生たちの姿がありました。

（Photo）第三保育所　保育士　齋藤 真奈 先生